

(情報公開用)

試料・情報の利用目的及び利用方法

- ・研究課題名：当院における頻回のシャント経皮的血管拡張術に対する薬物塗布バルーンカテーテル使用効果の検討
- ・目的：当院における頻回のシャント経皮的血管拡張術を行なっている自己血管内シャントに対する薬物塗布バルーンカテーテル使用効果を後方視的に検討することを目的とする

- ・研究期間： 自機関の長の実施許可日～2022年4月30日
- ・研究対象： 2020年4月1日～2022年4月30日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

患者名、手術日、性別、年齢、原疾患、生年月日、シャント作製日、透析導入日、前回の手術日、緊急度、シャント肢の左右、吻合場所、VA種類、特殊シャントの有無、動脈病変の有無、狭窄部位、病変性状、使用バルーンの種類、バルーンの径と長さ、最小拡張圧、最大拡張圧、治療効果、PTA前後のシャント血流量、PTA前後の血管抵抗値、シャント血流量の増加量、血管抵抗値の低下量、一次開存在期間、二次開存在期間

利用する者の範囲

当院単独の臨床研究であるため、研究責任者及び研究実施者に限る

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

清水 泰輔